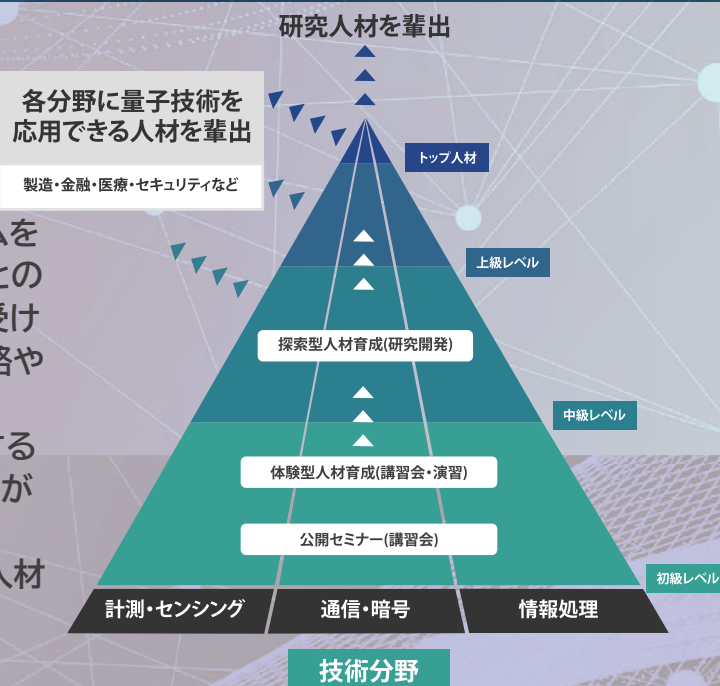


NICT QUANTUM CAMP

目指せ！ 量子ネイティブ！！

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT、理事長：徳田 英幸)は、量子コンピュータや量子暗号通信などの量子ICTを使いこなす高い知識/技術を持つ「量子ネイティブ(Quantum Native)」の育成を目的としたプログラム NICT Quantum Camp(NQC)プログラムを実施しています。量子分野について講義の受講や、仲間との議論・交流・活動とともに過ごし、研究・開発への支援を受けられる半年間のオンラインプログラムです。その後の進路やキャリアにつなげるなどの機会にもつながっています。毎年、定員を大幅に越える応募にも恵まれ、量子に関する初学者から研究や実務に関わる方までの幅広い受講生が参加して、大好評に終わっています。今年度も、(1)体験型人材育成プログラムと(2)探索型人材育成プログラムの2つの育成プログラムを実施します。受講生の多様さが特徴のプログラムです。基本はオンラインですが、一部、対面型のプログラムもあります。初学者から研究者、企業人など、量子ICTへ関心をお持ちの方を歓迎します！

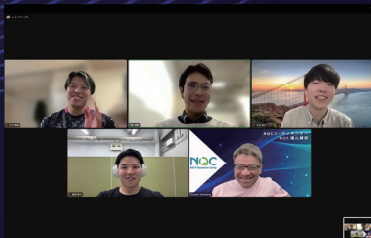


体験型人材育成プログラムコース

- ▶ 最先端の量子ICT分野で活躍されている一流の講師陣から直接学ぶことができ、議論できます！
- ▶ 学生・社会人の垣根を越えて、興味・関心を同じくする仲間たちと対面・オンラインで集い、繋がりを持つことができます！！
- ▶ 参加者や修了生たちと集まり、議論や自主勉強会等を通して自由な交流ができます！

探索型人材育成プログラムコース

- ▶ ご自身の研究を推進するための研究支援金を受けることができます！
- ▶ NQCに関わる一流の講師陣による指導や受講生、修了生等と議論・相談ができます！
- ▶ 探索型人材育成プログラムの参加者は体験型人材育成プログラムにも参加できます！



▶ 詳細・応募申込方法

NICT Quantum Camp (NQC)のWebサイトをご参照ください。



体験型人材育成プログラムコース

体験型人材育成では、50名程度の受講生を募集し、対面・オンライン環境にて講義・演習を実施します。大学や産業界から、量子ICTの第一線で活躍されている方々を講師にお招きして講義・演習を提供します。受講生は、これらの第一線の専門家から、量子ICTの基礎、各分野の成果やこれからの方向性、課題について学ぶことや、量子プログラミング演習や学んだことの振り返り資料の作成など、学びの先のアウトプットの経験も積むことができます。専門家、受講生、修了生たちとの交流や、有志で任意に自主勉強会を開催するなど、量子の世界に飛び込む環境を提供します。

講義・演習は、8月から2月まで、毎月1～2回程度のペースで土日に実施します。

応募期間 7月1日(月) - 7月29日(月)17時(期限厳守) **定員** 50名程度 **費用** 無料

応募条件

- ・日本国内に居住する方
- ・国内の銀行口座お持ちの方
- ・外国人の方は、国内の大学や企業に在籍している方
- ・量子ICTへの強い関心を有する方
特に若手(高専生、大学生、修士・博士課程在学者)や量子技術の教育に関わる方など
- ・PC操作や簡単なプログラミングなど基本的なICTスキルを有する方
- ・本プログラムの趣旨や目的、求める人材像を理解していること

8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



量子コンピュータ基礎・構成
量子中継ネットワーク



量子情報通信
量子暗号



量子コンピュータと
暗号技術



宇宙光通信
量子アニーリングの
基礎と社会応用



量子技術の
社会実装
量子計測・標準



演習(IBM Qiskitに
より量子コンピュータを
応用した作品開発)

振り返り会① 中間発表会

振り返り会② 最終成果発表会

探索型人材育成プログラムコース

探索型人材育成では、量子技術や関連周辺技術に関する個人単独又はグループによる調査・研究・開発・応用課題(5件程度)を募集します。採択者には研究支援金が支給され、自由に自律的に提案課題に取り組んでいただきます。NQCの講師陣、受講生、修了生の方々との議論、助言・指導を受ける機会を通じて、直面している問題の解決や研究開発能力、プレゼンテーション能力の向上に繋げていただければ幸いです。中間発表会と最終発表会で活動内容や成果を紹介していただきます。ご自身の研究を、初めて聞く方々にもわかりやすく伝えようとする姿勢を歓迎します(本コースのメリットをより一層享受できます)。

調査・研究・開発・応用の様々なフェーズで課題を選んでいただいて結構です。

ぜひ応募を考えてみてください！

研究開発期間 2024年8月 - 2025年2月
(2024年11月に中間発表
2025年3月に最終発表を実施予定)

応募条件

- ・日本国内に居住する方
- ・国内の銀行口座お持ちの方
- ・外国人の方は、国内の大学や企業に在籍している方
- ・量子ICTへの基礎知識・技能や強い関心を有する方
特に若手(修士・博士課程在学者、若手研究者)や量子技術の教育に関わる方など
- ・本プログラムの趣旨や目的、求める人材像を理解していること

応募期間 7月1日(月) - 7月29日(月)17時(期限厳守)

定員 5件(個人、グループでの応募も可)

費用 応募費用はかかりません

研究支援金 1件(個人または団体)につき、最大100万円まで

様々なテーマをお待ちしております

- ▶ 既存研究や技術の調査
- ▶ 学術的な研究
- ▶ 実装技術やプログラムの開発
- ▶ 量子技術の応用や量子分野の教育など

※研究開発以外にも、既存のものに対する調査テーマも可能です。

